

足立区議会議員 だ だ 太 郎 様

足立区議会議員 22 番 さ の 智恵子 印

一 般 質 問 通 告 書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいのので、会議規則第 59 条第 2 項の規定により質問通告書を提出します。

記

行 政 区 分	質 問 の 要 旨
1. 地域のちから 推進行政	I 子どものためのサードプレイスとしての公共施設等のさらなる活用について 1. 子ども・若者の声を聴き、応援する取り組みについて アメリカの社会学者レイ・オルデンバーグが提唱したサードプレイスは、家庭や学校、職場以外の第 3 の居場所であり「ストレスや精神的不安が軽減され、生活に潤いを与えたり、新しい価値観や人とのつながりを得ることができるなどの効果がある」と言われている。今後、小中高生をはじめ、区民にとってのサードプレイスとなる公共施設のさらなる活用が重要と考える。 ① 本年 2 月に策定した足立区基本計画の中で「やりたいことが叶うまち」として、サードプレイスが人々の居場所となるとともに、まちの活力を押し上げる力になるとしている。現在区では、綾瀬の「ぐるぐる」などで「やってみたい」を実現する取り組みをしており、子ども達のサードプレイスの機能も果たしている。今後は全区でどのように推進をしようとしているのか伺う。 ② 令和 6 年に「足立区公共施設等総合管理計画」を策定するにあたり、利用頻度や満足度などを分析するためのアンケート調査を実施した。このアンケートの対象者を 18 歳以上にしたのはどのような理由からか。 また、足立区基本計画では、子ども・若者の区政参画の推進を掲げている。このアンケートを今後は隔年で実施するとしているが、その際には未来の足立を担っていく視点から、18 歳未満も対象にすべきと思うがどうか。 さらに、小・中学校に通っている児童・生徒には、利用頻度や満
	6 月 18 日 午前・午後 10 時 00 分受付 質問時間 19 分

	22番さの智恵子
行政区分	質問の要旨
	足度などを答えやすいように質問を工夫して、タブレットやスマホなどで実施してはどうか、併せて伺う。 2. 地域学習センター等のさらなる活用について 区内14カ所ある地域学習センターは、図書館や体育館などの複合施設でサークルや個人で利用でき、サードプレイスとしての役割も大きいと考える。 ① 現在、各地域学習センターでは居場所づくりとして、1階のロビーにテーブルとイスを設置したり、空いている学習室を小中高生等に開放していると聞いている。現在そのような取り組みを実施している地域学習センターはいくつあるのか。 また、実施していない学習センターについては課題を整理し、すべての地域学習センターで工夫しながら実施すべきと考えるが、併せて伺う。 ② 令和6年に「夏休み子どもの居場所事業」として、13の地域学習センターの学習室を開放し、延べ約6,000人の小学生が利用した。各センターが地域の実情に合わせて実施したが、この結果をどのように分析しているのか。 また、センターによって参加人数に差があり、開催案内が充分でなかった地域もあったと聞く。また、参加した児童からは、スタッフと一緒に遊びたいとの声もあった。今年度実施するにあたり、周知方法やスタッフの配置と運営等どのようにしていくのか。 さらに、夏休みの居場所については、中高生からも利用を望む声があると聞く。今年度は、中高生の居場所も実施すべきと思うが、併せて伺う。 ③ 各地域体育館では、サークルの利用のほか、週に2、3日個人での利用もできるが、小中高生の利用状況はどうか。 また、令和6年の夏休みに、子どもの体験の機会を増やすとして、区の施設の利用を無料にしたが、利用状況はどうだったのか。 さらに、小・中学校で実施している体力測定の結果では、コロナ禍もあり体力の低下や運動不足が課題となっている。今後は個人利用の日には、小中高校生は通年を通して無料で個人利用できるようにし、運動できる機会を増やしてはどうか、併せて伺う。 ④ 区では外国人の転入が増加し、外国籍の子どもが増える中、言葉や文化の違いを超えて、外国籍の子どもも安心して過ごせる居場所

づくりは必要と考える。例えば、鹿浜地域学習センターでは英語でのお話会をはじめ、鹿浜国際交流会を開催し、自国の文化を紹介するなどして交流し、参加した子ども達にも好評と聞いている。今後は情報を共有するなど、そのようなイベントを各地域学習センターで開催し、外国籍の小中高生が気軽に来られるサードプレイスの推進をしてはどうか伺う。

- ⑤ 区内に48カ所ある住区センターでは、学童保育室やランドセルで児童館などが行われ、小学生は年間延べ約64万人が利用している。居心地の良いサードプレイスが、中高生になってもそのまま利用できる環境整備は大切と思うがどうか。

また、児童館は本来18歳未満が利用できる施設であるが、現在、中高生の利用は年間延べ1万人にとどまっている。杉並区には、中高生がつくるサードプレイス「ゆう杉並」がある。これは中高生に特化した児童館で、イベントの企画やルール作りも行っていると聞いている。当区としても、今後、今ある児童館で中高生のためのサードプレイスを検討し、利用者を増やす取り組みをしてはどうか、併せて伺う。

3. より多くの公共施設をサードプレイスとして活用を

令和6年8月に開催した「アダチ若者会議」の中で「勉強や楽器の演奏、スポーツができる場所がほしい」「高校生が集まれる場所(コミュニティがほしい)」との意見があり、区では実現に向け動きだした。

- ① 区では現在、足立区役所アトリウムでカフェのイスとテーブルを活用して、夜10時までみんなの居場所として開放しているが、利用状況はどうか。

また、この場所では飲食ができ、無料Wi-Fiが利用できる事が魅力だと思う。現在、飲食と無料Wi-Fiができる公共施設はいくつあるのか。

さらに今後は、子ども達の居場所として活用できる公共施設で、無料Wi-Fiが利用でき、飲食できるスペースを設けるなど推進してはどうか、併せて伺う。

- ② ギャラクシティは体験型施設として区内外から多くの子ども達が利用している。令和2年の決算特別委員会で「地下2階・アスレ

	22番さの智恵子
行政区分	質問の要旨
	チックの下のフリースペースで、今後食べ物の持ち込みも可能にして、中高生の居場所作りとなる取り組みを」と要望し「将来的には飲食可能な形で対応する」との答弁であった。コロナ禍明けから飲食可能となっているが、どのような居場所作りの取り組みをしているか。 また今後、ギャラクシティでは大規模改修が予定されている。その際には足立区のシンボルとなるような、小中高生のサードプレイスとしての機能を持たせてはどうか、併せて伺う。 ③ ギャラクシティでは、中高生を対象に施設を生かしたクラブ活動「Gがくえん」があり、天文部、パソコンゲーム部、軽音部、ダンス部の4部活を無料で実施している。現在の参加者は定員54名に対して29名である。今後は一日体験できる日を設定するなど、参加者を増やす取り組みをしてはどうか。 また現在、軽音部は人気が高く、定員12名の枠が一杯だと聞いている。今後定員を拡充して、中高生のやりたいを応援してはどうか、併せて伺う。 ④ 総合スポーツセンターでは、様々なスポーツを楽しむことができるが小中高生の個人利用の状況はどうか。 また、総合スポーツセンターや地域体育館では、指導員付きで誰でも参加できる「スポーツ広場」を実施している。これは卓球やバウンドテニスなど9種類の種目が、1回小・中学生は110～350円、高校生は210～410円で利用できる。令和6年度の延べ参加者は、約15,500人で、その内、中学生以下の参加者は1,190人と少ない状況である。今後、小中高生は無料で利用できるようにして、気軽に参加できる取り組みをしてはどうか、併せて伺う。 ⑤ 区立図書館では「図書館サービスデザインアクションプラン」を令和7年に策定し、今後5年間で運営やサービスを見直す方針である。その中で一人でもグループでも居心地の良い空間づくりを進めるとしている。今後は、中央図書館のリニューアルが期待されるが、どのように進めていくのか伺う。 Ⅱ 西新井・梅田・梅島などの地域課題について 現在この地域では、梅田八丁目複合施設を核とする西新井・梅島エリアデザインが進められ、今後さらに魅力ある街づくりに期待が高まっている。
2. 都市建設行政	

	22番さの智恵子
行政区分	質問の要旨
	1. 交通対策について この地域では、亀田トレイン通り、江北橋通り、環七南通りの整備が進み交通アクセスが向上している。一方で、車両や人の流れが増えることによる安全対策が重要と考える。 ① 令和3年3月に亀田トレイン通りの開通以来、西新井駅から梅島への車両の交通量も増加している。エルソフィア前のスクランブル交差点では、特に朝夕は信号を何度も待つなど渋滞が発生している。それに加え、今月には環七南通りの関原三丁目から梅田五丁目が開通することで、100号線からの交通量が増えると予想されるが、区は現状をどのように認識しているのか。 また、今月西新井駅東口まちづくりでは、課題の洗い出しのために梅島三丁目地域で交通量調査をしたと聞いている。近隣には小・中学校もあり、子ども達の安全対策は特に重要である。今後、交通量調査の結果を基に警察と協議して、対策を検討すべきと思うが、併せて伺う。 ② 江北橋通りは、令和3年3月に関原一丁目から梅田一丁目まで開通し、千住新橋までのアクセスが向上した。また、今年は自転車通行帯も設置され、多くの自転車が通行レーンを利用している。しかし、この自転車通行帯の上に、朝などは工事車両など停車する車が多く、自転車がやむを得ず車道や歩道を走行する状況もある。今後は自転車が安全に走行できる環境整備を、さらに推進すべきと思うがどうか。 また、足立一丁目から三丁目までは車道が狭く、自転車も走行しにくい状況もあり、今後予定されている道路の拡幅に期待の声も多く聞かれる。今後の整備スケジュールが計画通りに進むよう、都に要望すべきと思うが、併せて伺う。 2. 梅田八丁目複合施設整備について 今後建設が予定されている梅田八丁目複合施設は、梅田図書館を核として、NPO支援センター、子育てサロンが入る施設で、隣接する梅田亀田公園とトレイン公園が一体として整備される計画になっている。私は10年前より、梅田八丁目アパートの跡地活用については、子どもと大人が交流できる複合施設を創るべきと要望してきた。ま

	22 番 さ の 智恵子
行 政 区 分	質 問 の 要 旨
	た、地域からは、長年「西新井駅周辺に区立図書館を」と要望があり、この整備を楽しみにしている。 ① 令和10年1月の完成予定であるが、スケジュールに遅れや変更がないか伺う。 また、梅田八丁目アパートの跡地は工事用の仮囲いのままで、この場所に複合施設が整備されるのを知らない人もいる。現在、亀田小学校の6年生が「新しい図書館や公園でしたいコト」をテーマに書かれた作品が掲示されているが、今後は、梅田八丁目複合施設の完成予想図も掲示して周知してはどうか、併せて伺う。 ② 梅田七丁目にある現在の梅田図書館が移設後、どのように活用されるのか、近隣から問い合わせもある。まずは区での活用を検討していくと聞いているが、現在の状況について伺う。 3. 西新井公園周辺地区まちづくりについて 西新井公園周辺地区では、住民と区が情報共有や意見交換を行い、協創のまちづくりを進めている。 ① 西新井駅東口周辺地区まちづくり協議会は、現在12回を数えているが、昨年から町会自治会に加え、商店街やPTA、また地域の企業などが新たに加わり、様々な意見を聴くことができている。今後は、未来に向けての意見を聴くために、若者の参加も検討してはどうか伺う。 ② 現在、補助第255号線の整備と西新井公園の整備に合わせて、西新井公園周辺地区まちづくり計画と西新井公園基本構想が策定された。今年2月28日と3月1日に開催した説明会には二日間で約100人が参加した。6月にはオープンハウス型説明会を開催したが、これらの説明会ではどのような反響があったのか。 また、今後も区民に周知する機会を、継続して実施すべきと思うが、併せて伺う。 ③ 西新井公園については、防災拠点ゾーンなど3つのゾーンで構成される計画が発表されたが、整備期間が令和40年までと長期になるため、地域の方からは計画がわかりにくいとの声も多くある。先日の協議会でも要望があったが、先行取得している土地を活用して、防災イベントを開催するなど区民の周知や機運醸成を図るべきと思うが伺う。

	22番さの智恵子
行政区分	質問の要旨
	4. 西新井駅西口駅前交通広場の整備について 令和5年9月に西新井駅西口の仮設改札口の利用が始まり、区民から要望が多くあったエスカレーターとエレベーターが利用できるようになり利便性が向上した。今後さらなる整備が期待される。 ① 多くのバスが乗り入れる西新井駅の利便性向上のためには、駅前交通広場の整備が欠かせない。令和8年までに用地取得するとして、地権者への丁寧な対応をしていると聞くが現状はどうか。 また、ペDESTリアンデッキについて、歩行空間確保のために検討していくとのことであるが、この検討のために令和12年3月の完成が遅れる事がないよう、地域の声を聞きながら方針を決定していくべきと思うが、併せて伺う。 ② 東武鉄道のマンションが解体されたこともあり、東武の駅ビルや駅前の整備について、今後どうなっていくのか、区民の関心は高くなっている。東武鉄道、西新井南街区準備組合と協議し、可能な限り早く、区民へ情報発信をすべきと思うが伺う。